



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

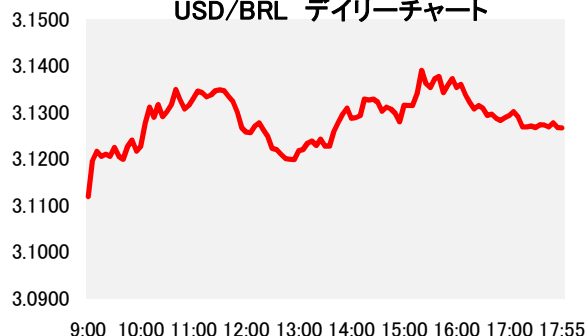
			3月21日	3月22日	3月23日	3月24日	3月27日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.0880	3.0880	3.1410	3.1080	3.1270	+0.0190
	BRL/JPY	Spot	36.18	36.00	35.33	35.81	35.39	-0.42
	EUR/USD	Spot	1.0810	1.0796	1.0783	1.0798	1.0864	+0.0066
	USD/JPY	Spot	111.72	111.18	110.96	111.34	110.66	-0.68
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	10.531	10.469	10.455	10.340	10.355	+0.015
	Future	1Year(p.a.)	9.737	9.738	9.759	9.670	9.631	-0.040
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.054	2.054	1.982	1.971	1.979	+0.008
	USD	1Year(p.a.)	2.175	2.175	2.100	2.147	2.110	-0.037
株式	Bovespa指数		62980	63521	63531	63854	64308	455
CDS	CDS Brazil 5y		236.84	236.84	241.42	236.85	236.31	-0.54
商品	CRB指数		184.288	183.854	183.643	183.465	183.098	-0.37

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV消費者信頼感	--	85.30	81.80
税收	93000m	92358m	137392m
貿易収支(週次)	--	\$1602m	\$1437m
(米)カ'ス連銀製造業活動	22.0	16.9	24.5

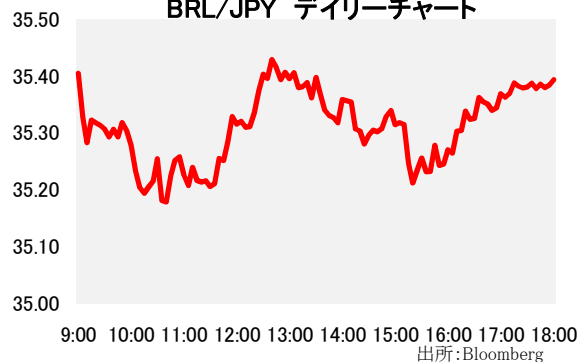
USD/BRL デイリーチャート



3. 要人コメント

エバンズ シカゴ連銀総裁	インフレや政府支出の見通しをめぐ る不確実性を踏まえると、年内の米 利上げ回数は2回が適切な可能性が ある。
-----------------	---

BRL/JPY デイリーチャート



4. トピックス

- 本日のレアルは日中高値となる3.1090で寄り付いた後、伯中銀が5億ドル相当のドル売りスワップポジションのロールを発表したにも関わらず、レアル売りが優勢となりじりじりと3.13台半ばまで売られた。正午を挟んで一時的に3.12台前半まで買い戻されるも、引けにかけて再びドルが対主要通貨で買われると、売りに転じて本日の安値となる3.1390まで下落。結局3.1270でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2017年の経済成長率予想は0.48%から0.47%に下方修正され、2018年は2.50%に据え置かれた。2017年のインフレ率予想は4.15%から4.12%に下方修正された一方で、2018年予想は4.50%に据え置かれた。2017年末の予想為替レートは3.29から3.28に小幅ながらもレアル高方向へ修正され、2018年予想は3.40に据え置かれた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。